



みなみの風

令和8年7月29日
第5号
文責 校長 松本

令和8年熊本地震のお見舞いと子どもたちの安全・心のケアについて

保護者の皆様におかれましては、この度の「令和8年熊本地震」におきまして、大変な恐怖とご不安の中で過ごされていることとお察し申し上げます。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。現在も余震が続いており、緊張した状況が続いておりますが、学校といたしましても子どもたちやご家庭の安全確認と支援に努めてまいります。夏休み中ではございますが、以下の点につきましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 児童（生徒）の安否・被害状況の把握について

学校では、全児童（生徒）の安全と被害状況の把握を進めております。

○安否・被災状況の連絡

ご家族やお子様に怪我がある場合、避難所に避難している場合、住宅等に大きな被害が出ている場合は、安心安全メール（または学校の電話）にて状況をお知らせください。

○安全の確保

通学路や地域の道路・建物に危険箇所（石垣の崩れ、ブロック塀の傾き等）がないか調査を進めております。危険な場所には近づかないよう、ご家庭でもお声がけください。

2 夏休み中の子どもたちの「心のケア」について

大きな揺れや不安なニュース、避難生活などにより、子どもたちは目に見えない大きなストレスを感じています。今後、以下のような反応が見られることがあります。

○よく見られる反応（ストレスサイン）

暗闇や一人になることを怖がる、保護者から離れようとし
眠れない、悪夢を見る、食欲がない
些細なことでイライラする、おびえる、口数が減る
頭痛や腹痛など、体に症状が出る

3 ご家庭で大切にしていきたい対応

○安全と安心を伝える

「大丈夫だよ」「一緒にいるよ」と声をかけ、抱きしめるなどして安心感を与えてください。

○話を無理に引き出さない

話したがるなときは無理に聞かず、寄り添う姿勢を見せることが大切です。話をしてくれたときは、途中で否定せずしっかり傾聴してください。

○メディア（ニュース・SNS）の刺激を減らす

地震の映像や衝撃的なニュースを繰り返し見続けると、不安が強まる場合があります。適度にテレビやスマートフォンの画面から離れる時間を設けてください。

4 落ち着いた生活と安全確保への呼びかけ

○身の安全を最優先に

引き続き大きな余震や落石・崖崩れなどに警戒してください。家具の固定や避難経路の再確認をお願いします。

○熱中症への警戒

避難や片付け作業、暑い室内での生活が続く場合は、水分・塩分補給をこまめに行い、熱中症にも十分ご注意ください。

○規則正しいリズムを意識

不安なときこそ、できる範囲で「決まった時間に起きる・食べる」など、日常の生活リズムを保つことが心の安定につながります。

子どもたちの様子で気になることなどがございましたら、遠慮なく学校までご相談ください。（受付時間：平日 8:30 ～ 16:30）子どもたちが一日も早く安心して笑顔で過ごせるよう、教職員一同、地域やご家庭と連携してサポートしてまいります。

皆様のご安全を心よりお祈り申し上げます。